

手当の種類	支給対象者・要件等	支 給 額
水中作業手当	練習船の航海中において船推進機に絡んだ漁具を潜水して除去する作業に従事したとき	1 回 1,500円
高圧電気取扱作業手当	指定職員が高圧電気の充電回路の点検、調整又は修理の作業に従事したとき	日 額 240円
ボイラー取扱作業手当	ボイラー技工士免許を有する職員が、ボイラー（小型ボイラーを除く。）の取扱い作業に従事したとき（特殊教育諸学校勤務手当支給職員を除く。）	日 額 240円

3 適用期日

昭和62年4月1日に適及適用（宿日直手当については、昭和63年1月1日、特殊勤務手当については、昭和63年4月1日適用）され、これに係る差額は、昭和62年12月25日に支給された。

第8節 付 属 機 関 等

1 福島県後期中等教育審議会

昭和62年度福島県後期中等教育審議会委員

氏 名	役 職 名	備 考
会田 長栄	福島県教職員組合中央執行委員長	副会長 会 長
手塚 達雄	福島県高等学校PTA連合会長	
樽井 博幸	福島民友新聞社編集局総務	
樫村 五郎	福島県高等学校長協会会長	
青柳 良憲	福島県高等学校教職員組合執行委員長	
太田美恵子	福島県市町村教育委員会連絡協議会長	
太田 緑子	福島県社会福祉協議会長	
斎藤 範幸	福島民報社常務取締役編集局長	
大和 郭二	福島県産業教育振興会常任理事	
佐藤 光		
村上 保	福島県立福島農蚕高等学校長	
小林 四郎	福島県中学校長会長	
塚原 進	福島県立医科大学名誉教授	
岡崎 英夫	福島県中学校長会進路対策部長	
平山 正秋		
森 功	福島県私立中学高等学校協会会長	
飯野陽一郎	喜多方市長	
鈴木重郎治	県町村会 小高町長	
柳沼 秀雄	県議会議員	
武田 裕子	県議会議員	
佐藤 静雄	総務部長	
船尾 允也	商工労働部長	

(2) 昭和62年度福島県後期中等教育審議会専門調査員

氏 名	役 職 名	備 考
鈴木 善弘	福島大学教育学部教授	座 長
若杉 栄	福島女子高等学校長	
鹿又 稔	相馬農業高等学校長	
小松原 格	福島工業高等学校長	
森 修一	福島商業高等学校長	
橋本 今祐	郡山女子高等学校長	
佐々木慶司	若松女子高等学校長	
廣瀬 成裕	会津若松市立第四中学校長	
庄司 勝雄	郡山第二中学校長	

(3) 審議会及び専門調査会の審議・調査経過概要

年度	開催日	会 議 区 分		審 議 内 容
		審議会	専門調査員会	
62	5 14		第1回	1 座長選出 2 審議会への第三回中間報告書の作成
	6 18	第1回		1 専門調査員会第三回中間報告について審議
	7 18		第2回	1. 第二次答申案文の作成
	8 4	第2回		i. 第二次答申文の審議決定
			(会長)	

2 福島県スポーツ振興審議会

根拠法 スポーツ振興法（昭和36年6月16日法律第141号）第18条及びスポーツ振興審議会の委員の定数、任期等に関する条例（昭和37年3月31日条例第20号）

目 的 教育委員会若しくは、知事の諮問に応じ、スポーツ振興に関する重要事項について調査審議し、これらの事項について教育委員会若しくは知事に答申・建議する。

(1) 会 議

① 第1回審議会

ア 期 日 昭和62年8月21日（金）

イ 場 所 福島県自治会館 301会議室

ウ 内 容

○主題設定計画について

○主題「福島国体を親しみ易く、より開かれた特色ある国体とするための対応策」について

◎主題設定の趣旨、審議計画・内容等について審議した。

② 第2回審議会

ア 期 日 昭和62年11月30日（月）

イ 場 所 福島県自治会館 303会議室

ウ 内 容 主題「福島国体を親しみ易く、より開かれた特色ある国体とするための対応策」について